

事務事業名	食生活改善推進員協議会委託事業	事務事業No.	10201000327	所属課	健康推進課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	国から健康づくり対策として、食生活改善推進員養成(404時間の研修)の要望があり、旧岩瀬町は昭和54年、旧大和村は昭和48年、旧真壁町は昭和46年から発足し、『自分の健康は自分で守る』という認識のもと、減塩をはじめとする生活習慣病予防、女性の貧血予防の普及推進事業を展開してきた。平成15年の健康増進法の施行、平成17年の食育基本法の施行に伴い、栄養・運動・休養のバランスの普及啓発の地、子どもを中心とした食育事業も活発に進められてきた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	食生活改善推進員協議会が主催する生活習慣病予防や食育等の健康づくりに関する講習会の参加者からは、身近な食材で簡単に作れておしかった、自分の子供と調理を体験できて子供のたくましさに触られた、また、会員からは自分を表現し地域の人たちと交流できる場を作ってもらえてありがたい等、今後も引き続き簡単に健康づくりが図られる講習会の開催が期待されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	社会情勢や市民の関心の高い内容を企画する。普及活動や研修会の設定日や設定内容の工夫。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	自分の健康は自分で守るという認識のもと、市民一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組めるよう、会員が中心となり積極的に健康づくり講習会の開催や機関紙の発行等を通しての情報提供ができ、健康づくりの取り組みの実践に結びつきやすい。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	食生活改善推進員が健康づくりを支援するボランティア活動をすることにより、多くの市民に健康に関する知識を広めることができ、健康づくりを支援している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	働き盛りの若い人たちの参加を増やしたいが難しい。養成講習の準備をする時間が確保できない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	普及活動が縮小すると、市民の健康に関する意識の低下を招き、生活習慣病等の疾患にかかる人が増加する恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	食生活の様々な活動を通し、地域の健康づくりを支援する実践活動を行うボランティアは他にない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	食生活改善の普及啓発に手づくりのパネルやポスターを使い、工夫を凝らして実施しており、削減することは難しい。調理実習費も、参加者ひとり当たり100~200円を負担している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	食生活改善推進員になるために、市が実施する養成講習を40時間以上受講して、修了した会員が、食生活改善や健康づくりに関して乳幼児から高齢者まですべての市民を対象に活動している。全戸配布の機関紙を発行し普及啓発もやっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	食生活改善推進員のすべての会員が、積極的にボランティア活動として乳幼児から高齢者まですべての市民を対象に食生活改善の普及活動を行っている。しかし、働き盛りの若い人達の参加を増やしたいが難しく、養成講習会の準備をしても時間が確保できないのが実情である。今後は、養成講習会を開催して若い会員を増やす努力をしなければならない。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>